

2020年3月期 決算説明会資料

2020年5月21日

セイノーホールディングス株式会社



目次

01

2020年3月期 決算概要

02

2021年3月期 業績予想

03

財 務

01

2020年3月期
決算の概要

セグメント別 売上高・営業利益

	売上高				営業利益			
	19/3	20/3	増減額	増減率	19/3	20/3	増減額	増減率
輸 送 事 業	462,459	466,473	4,013	0.9%	24,475	23,339	▲ 1,135	▲4.6%
自動車販売事業	102,233	104,664	2,430	2.4%	4,850	4,353	▲ 497	▲10.3%
物品販売事業	33,518	32,867	▲ 650	▲1.9%	829	870	41	5.0%
不動産賃貸事業	1,651	1,732	81	4.9%	1,334	1,382	47	3.6%
そ の 他	18,574	21,389	2,814	15.2%	901	688	▲ 213	▲23.7%
調 整 額	-	-	-	-	▲ 1,182	▲ 1,194	▲ 12	-
合 計	618,436	627,126	8,689	1.4%	31,209	29,439	▲ 1,769	▲5.7%
			経常利益		33,629	31,247	▲ 2,381	▲7.1%
			親会社株主に帰属する 当期純利益		21,216	25,677	4,460	21.0%

Copyright© 2020 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved.

- 売上高 5期連続の増収
- 営業利益 11年ぶりの減益
- 経常利益 4年ぶりの減益
- 当期純利益 3期連続の増益

※売上高と当期純利益は過去最高

輸送事業

【物量】 消費税増税による景気後退により下期の物量が減少
 日当り物量前年比 97.0% (上期 99.1% 下期 95.0%)
 【単価】 KG単価前年比 103.0% (上期103.0% 下期 102.9%)
 実費収受額前年比 134.8%

自動車販売事業

新車販売台数	2019年3月期	2020年3月期	前年比
【乗用車】	19,021台	19,239台	101.1%
【トラック】	4,394台	4,164台	94.8%

物品販売事業

主要商品売上高 前年比
 【燃料販売】 90.7% (数量94.6% 単価95.9%)
 【家庭紙販売】 107.4%

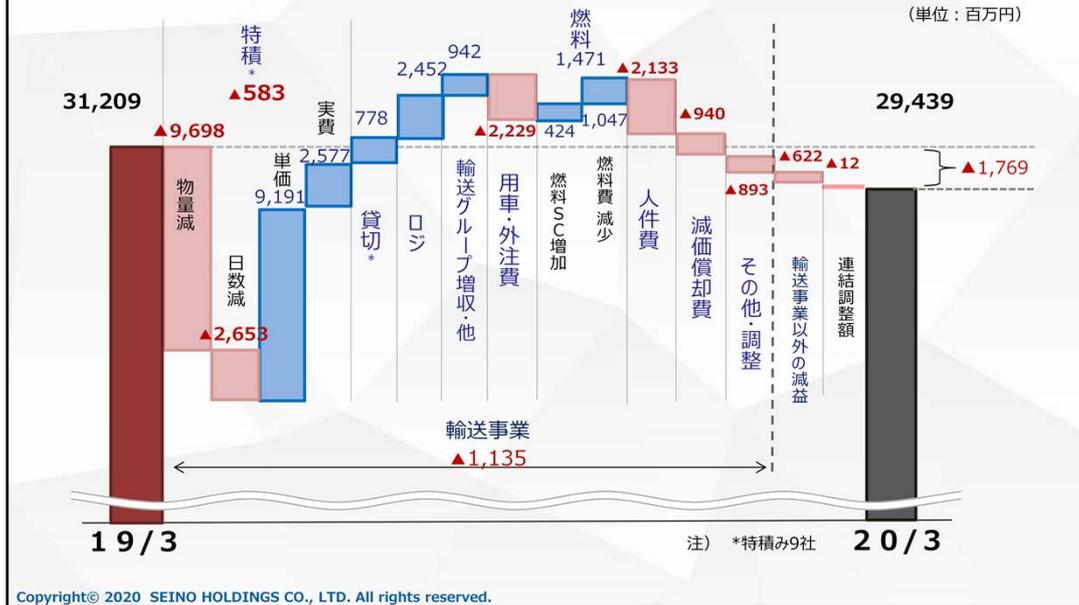
不動産賃貸事業

新規賃貸物件 1件 (浜町第2ビル)

その他

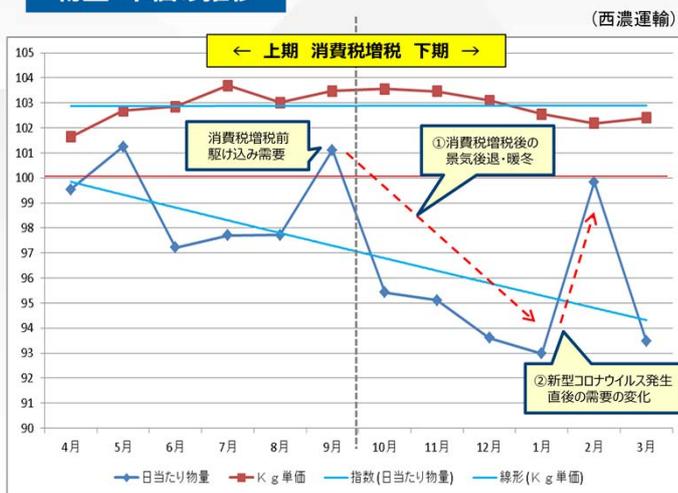
新規連結会社 3社 (二葉工業所、フーズ、モエ・アグリファーム)

営業利益の分析



＜特積み9社＞	前年比
○日当り物量	97.0%
○営業日数	99.2% (▲2日)
○Kg単価	103.0%
○実費収受額	134.8%

物量・単価の推移



下期結果について

- 単価
102.9%の伸長
- 物量
 - ①消費税増税後の景気後退や暖冬により荷動きが鈍化し物量が減少
 - 【主な業種】
 - ・減少幅が大きな業種
機械器具製造業、化学工業、金属製品製造業等
 - ・暖冬による影響
ゴム製品製造業、繊維、衣類等卸売業等
 - ②新型コロナウイルスの影響により一部商品の需要が拡大
 - 【主な業種】
 - ・食料品製造業、医療品、身の回り品小売業

◎ 2021年3月期の方針

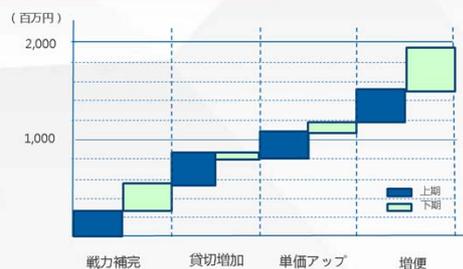
今後も新型コロナウイルスの影響により物量の減少が見込まれるが、顧客管理システム（P C・タブレットで閲覧可能）を活用し、出荷状況や運賃交渉履歴等のアラート機能により、運賃交渉のターゲットを選定し交渉していく

Copyright© 2020 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved.

- Kg単価前年比（西濃運輸：一般便）
下期・通期 102.9%

用車料増加額の内訳

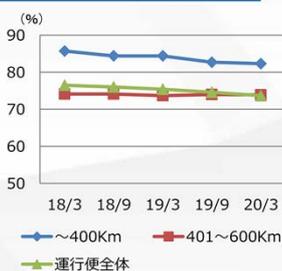
(西濃運輸)



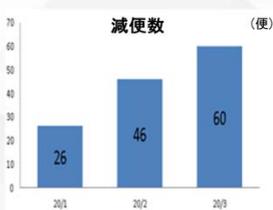
用車料 増加の要因

- ・ドライバー不足により、自社戦力の補完が引き続き必要となった
- ・物量の減少に応じて貸切が減った
- ・ドライバーの負担軽減のため距離短縮・立寄店削減を実施したことにより用車便数ならびに用車料が増加した

運行便自社化率



4Q 減便の取組み



自社化率

- ・自社戦力の補完とドライバーの負担軽減のための増便により自社化率の改善が進まなかった

削減の取組み

- ・1月から減便を行った

Copyright© 2020 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved.

○ 用車料の増加

- ・ 自社戦力の補完
 - 自社のドライバー不足を補完
- ・ 用車の増便
 - ドライバーの負担軽減
 - 1 運行あたりの運行距離や立寄店の削減など、
 - 長距離便の運び方の変更による増加

福利厚生

従業員向け株式給付制度

- 株式給付信託（J-E S O P）の導入
 - ・導入日 2019年12月23日
 - ・導入目的 従業員の帰属意識の醸成や、株価上昇に対する動機づけ等
 - ・信託規模 信託金額 6,990百万円（取得株数 4,848千株）
 - ・制度概要
 - ⇒従業員の勤続に対してポイントを付与し、退職時に累積ポイントを株式で給付する制度（退職金制度とは別）
 - ⇒ポイントは業績等により変動する
 - ・制度導入時の過去勤務分の引当処理
 - ⇒5,633百万円を特別損失で処理

Copyright© 2020 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved.

- 人財費用
 - 雇用対策の福利厚生施策として株式給付信託を導入

経営指標の推移	2018/3期	2019/3期	2020/3期
売上高	596,130	618,436	627,126
営業利益	27,879	31,209	29,439
営業利益率	4.7%	5.0%	4.7%
経常利益	29,120	33,629	31,247
親会社株式に帰属する当期純利益	20,046	21,216	25,677
ROE（自己資本利益率）	5.2%	5.2%	6.1%
ROA（総資本利益率）	3.3%	3.3%	3.9%
自己資本比率	63.4%	63.8%	64.4%
PBR（株価純資産倍率）	0.98倍	0.72倍	0.54倍
BPS（1株当たり純資産額）	1998.90円	2,057,98円	2,160.50円
EPS（1株当たり当期純利益）	101.88円	104.85円	127.56円
PER（株価収益率）	19.2倍	14.1倍	9.2倍
基準日株価	1,958円	1,475円	1,173円

Copyright© 2020 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved.

- 営業利益
 - 消費増税後の景気後退の影響もあり減益
- 当期純利益
 - 不動産売却益が特別利益に計上されたこともあり過去最高
- ROE 6.1%
- ROA 3.9%

キャッシュフロー

営業キャッシュ・フロー		主な要因
	(+) (-)	
19/3		48,008
20/3		34,963
		・営業利益の減少
投資キャッシュ・フロー		主な要因
19/3	▲22,530	・固定資産の増減 (+17,277百万円) (固定資産取得 19/3 ▲30,620 → 20/3 ▲34,693百万円)
20/3	▲18,052	
財務キャッシュ・フロー		主な要因
19/3	▲7,193	・自己株式の取得・処分 (▲11,743百万円)
20/3	▲21,921	
現金及び現金同等物の期末残高		
19/3		98,462
20/3		93,481
		・現金及び現金同等物の残高 前期比 ▲4,981百万円

Copyright© 2020 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved.

- 営業キャッシュフロー
営業利益の減少
- 投資キャッシュフロー
不動産売却による資金で、前年を上回る不動産投資を実施
- 財務キャッシュフロー
株式給付信託（J-ESOP）を含め、100億円を超える自己株式を取得
- 現金及び現金同等物の期末残高
僅かに減少するも十分な水準を維持 ⇒ 今期の積極的な投資へ

設備投資実績

総額 34,007百万円

主な設備投資

土地	7,581百万円	建物	11,043百万円
○輸送事業 愛知県あま市 (西濃運輸) 1,760百万円 島根県出雲市 (日ノ丸西濃) 253百万円		○輸送事業 成田支店 (西濃運輸) 新築 2,283百万円 深川支店 (") 新築 2,123百万円 【総額 5,381百万円の内】 大阪西支店 (") 増築 511百万円	
○不動産賃貸事業 東京都中央区 (西濃運輸) 2,671百万円		○自動車販売事業 大垣支店 (岐阜日野) 改修 623百万円 真正支店 (ネッツ岐阜) 新築 333百万円	
		○不動産賃貸事業 東京都中央区 (西濃運輸) 取得 430百万円	
車両	8,922百万円	その他	6,461百万円
○輸送事業 西濃運輸 4,561百万円 ハイノースポークス 782百万円		○輸送事業 省力機器他 (西濃運輸) 1,875百万円 ソフトウェア (西濃運輸) 902百万円	

Copyright© 2020 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved.

○ 20/3期 ロジ・トランス施設への投資

<土地>

- ・愛知県あま市 1,760百万円

<建物>

- ・成田支店 2,283百万円
- ・深川支店 2,123百万円

○ 設備投資の推移

(百万円)

	18/3	19/3	20/3
土地	817	2,389	7,581
建物	6,331	12,953	11,043
車両	8,038	9,686	8,922
その他	6,159	9,830	6,461
合計	21,345	34,858	34,007

○ 減価償却費の推移

(百万円)

	18/3	19/3	20/3
合計	17,775	19,000	20,197

02

2021年3月期
業績予想

セグメント別 業績予想

	売上高				営業利益				
	20/3	21/3 (予)	増減額	増減率	20/3	21/3 (予)	増減額	増減率	
輸 送 事 業	466,473	427,000	▲ 39,473	▲ 8.5%	23,339	9,900	▲ 13,439	▲ 57.6%	
自動車販売事業	104,664	83,000	▲ 21,664	▲ 20.7%	4,353	2,100	▲ 2,253	▲ 51.8%	
物品販売事業	32,867	31,000	▲ 1,867	▲ 5.7%	870	550	▲ 320	▲ 36.8%	
不動産賃貸事業	1,732	1,800	67	3.9%	1,382	1,400	17	1.3%	
そ の 他	21,389	19,200	▲ 2,189	▲ 10.2%	688	500	▲ 188	▲ 27.4%	
調 整 額	-	-	-	-	▲ 1,194	▲ 1,150	44	-	
合 計	627,126	562,000	▲ 65,126	▲ 10.4%	29,439	13,300	▲ 16,139	▲ 54.8%	
					経常利益	31,247	14,500	▲ 16,747	▲ 53.6%
					親会社株主に帰属する 当期純利益	25,677	7,400	▲ 18,277	▲ 71.2%

Copyright© 2020 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved.

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、経済環境が悪化する可能性を鑑み、一定の想定を置き、下限数字として業績予想数値を設定
- 前提は、スライド15に記載

前提

【輸送事業】

- 新型コロナウイルス日本国内における感染拡大の終息宣言の時期
- 政府による緊急事態宣言および特定警戒都道府県での移動制限の解除
⇒移動制限(要請)の解除 ⇒ 生産活動の再開 ⇒ 段階的に戻る
物量(日当り) 4月 87%、5月~8月 80%、9月 85%、10月~11月 90%、
12月~3月 95%
- 年間想定
 - ①物量(日当り)想定 (前年比 88.7%)
 - ②単価想定 (前年比 102.3%)
 - ③稼働日数 (前年+2.7日 前年比 101.1%)

【自動車販売事業】

- ①乗用車新車販売台数 15,391台 前年比 80.0%
- ②トラック新車販売台数 2,978台 前年比 71.5%

Copyright© 2020 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved.

- 輸送事業 (西濃運輸：一般便)
21/3期 物量×単価の想定

想定	稼働率	日数	単価	物量	伸長率
上期	101.22%	1.5日	102.33%	82.23%	85.17%
下期	100.98%	1.2日	102.33%	93.31%	96.41%
通期	101.10%	2.7日	102.33%	87.76%	90.79%

幹線費用

物量に応じた運行体制により、運行便数をコントロールする

- 運休の実施
 - 平日：24,000便/年
 - 土曜：14,400便/年
 - 合計：38,400便/年

人件費

生産性の維持・向上を図りつつ、従業員の雇用確保を行う

- 物量に応じた対応を行なう
 - ・物量・業績により人件費が変動（歩合給・業績評価給等）
 - ・物量に応じた勤務体制とし、総労働時間を短縮（残業時間管理）
 - ・職種変更の推進（営業乗務社員 → 路線乗務社員）
- 定着
 - ・福利厚生の充実（J-ESOPや持株会、社員寮の確保）
- 採用
 - ・ドライバーの中途採用を積極的に行ない自社化を推進
 - ・大型、中型ドライバー育成や大都市圏の戦力拡充並びに事業強化のため定期採用を継続

Copyright© 2020 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved.

- 幹線費用
 - 最大で年間38,400便の運休を計画
- 人件費
 - 物量に応じた業績連動給の運用
 - 労働時間のコントロールによる費用抑制
 - 定着を重視して生産性の維持・向上

設備投資計画

総額 37,500百万円

主な設備投資計画

土地 11,500百万円

- 輸送事業
- 千葉県市川市 (西濃運輸) 6,570百万円
- 岡山県岡山市 (") 2,261百万円
- 沖縄県豊見城市 (沖縄西濃) 512百万円

建物 10,200百万円

- 輸送事業
- 深川支店 (西濃運輸) 新築 3,258百万円
【総額 5,381百万円の内】
- 不動産賃貸事業
- 【マンション新築】
- 東京都中央区 (西濃運輸) 692百万円
- 東京都港区 (西濃運輸) 1,033百万円

車両 8,100百万円

- 輸送事業
- 西濃運輸 4,660百万円
- セイノスール-イクスプレス 838百万円

その他 7,700百万円

- 輸送事業
- 省力機器他 (西濃運輸) 1,760百万円
- ソフトウェア (西濃運輸) 750百万円

Copyright© 2020 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved.

- 減価償却費
21,000百万円 (前年 +803百万円)



配当金



配当方針：中・長期的な視野に立って株主資本の充実と利益率の向上を図りながら、中間配当を実施し原則として1株あたり年間11円を下限とし、連結配当性向30%を目標とした配当を実施するよう努める

Copyright© 2020 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved.

○ 配当推移

	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 (計画)
中間配当	11円	11円	11円	11円	11円	11円
期末配当	17円	16円	19円	21円	28円	未定
年間配当	28円	27円	30円	32円	39円	未定
配当性向	29.5%	29.3%	29.4%	30.5%	30.6%	30.0%
配当総額(百万円)	5,572	5,325	5,977	6,541	7,855	未定

資本政策

○自己株式の取得

2020年5月13日開催 取締役会決議

- ①取得対象株式の種類 : 普通株式
- ②取得し得る株式の総数 : 20,000,000株 (発行済株式の9.96%)
- ③株式の取得価額の総額 : 20,000百万円
- ④取得期間 : 2020年5月14日~2020年12月23日

<参考> 2020年4月30日時点の自己株式の保有状況

- ・発行済株式総数 (自己株式を除く) 200,849,614株
- ・自己株式数 (信託保有分を除く) 6,830,169株



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

お問合せ先

セイノーホールディングス株式会社

財務IR部

〒503-8501 岐阜県大垣市田口町1番地

TEL: 0584-82-5023 FAX: 0584-82-5043

<http://www.seino.co.jp/seino/shd/>

E-mail: i.r@seino.co.jp